

波紋



Ripple

2014年
2月

創刊

1985年(昭和60年)7月

No. 344号



元気が出る信念会を終えて

1月6日、栄ラグナスイートホテルにて恒例の「元気が出る信念会」を開催しました。

森社長の挨拶、アキレス(株)豊田部長の乾杯の音頭で、和やかなムードで会が始まりました。

今年も森会長が中国へ語学留学中にて不在でしたが、取引先の皆様へ新年の挨拶を兼ねた近況報告をビデオレターとして伝えることができました。そして恒例のじゃんけん大会! 賞品はiPad miniを2台。これをめぐる争奪戦。大いに盛り上がり、勝者は三菱商事(株)鈴木さん、オカモト(株)白井さん。両者ともタブレットは所存しておらず大変喜んで頂けました。続いてすっかり定番となりました高塚先生による「ヨガ教室」。お正月休みになまった体を戻すため、皆さん真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。最後は光田マネージャーによる中締め挨拶。和気藹々の中、宴は無事終えることができました。これも社員の皆さんが各々の役割分担を果たして頂いたお陰です。ご協力ありがとうございました。また取引先の皆様、お忙しいところ御参加して頂き誠にありがとうございました。あらためまして御礼申し上げます。皆様の協力のもと社員一同、元気に努めさせて頂きまします。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

実行委員長 安井浩二

『自分の持ち時間』

社長 森 直樹



新年も1ヶ月を過ぎました。気がついたらこれだけの時間が過ぎてしまっています。自分の持つ時間は有限です。もしも80歳まで生きることができるとしたら、私の時間は後41年。つまり14,965日。時間に直すと359,160時間。長いような短いような、感覚的にピンとこない数字です。しかし確実に時間は経過していきます。

昨年を振り返ってみれば、「気がついたら1日が終わっていた」という状況に何度も陥りました。忙しいことには間違いないですが、自分の仕事からだけあって、それが何時頃までに終わるかかわからない状況。自分で自分の時間がコントロールできていない事になります。この調子で行けば、これからどうなってしまうかの想像が付きまします。「気がついたら1ヶ月が終わった」「3ヶ月が終わった」・・・「10年が過ぎていた」・・・!という事になりかねません。今年には自分が取り組んでいる仕事について、それをどれだけの間で終わらせるのか?という意識を持ち、実際にかかった時間を記録してみます。10分、30分、1時間、と必要な時間は実際に手を付けてみるまでは分からないこともあるかと思えます。意外と早く終わったり、また逆のケースもあるでしょう。こうすることで自分が自分の時間をコントロールしている感覚が掴めてくると思います。「時間は平等に与えられている」「時間は有限である」「普遍的なこの事実を改めて心に留めておきたいと思えます。こうしている間にも30分が経過しました。あと30分で終わらせて次のことに移るとしますか。」

2月の予定

1日(土) 第1土曜日休み

8日(土) 第2土曜日休み

11日(火) 建国記念日

15日(土) 第3土曜日休み

19日(水) 村田恒夫さん誕生日

24日(月) 牧野光昌さん誕生日

28日(金) 光田昭男さん誕生日

CS会議 14時10分～15時

生産会議 17時30分～19時

藤木方子さん誕生日

受験生頑張れ!!



森松株式会社 社内報 MORLIN
No: 344 平成 25年 1 月 24日
編集者 大石耕平 小原龍一 伊東義弥
小坂美香 松井宜和 伊藤雅典

あつという間の6年間

三輪 りつ子 (総務部)

うし節上間き本まで嬉てこた信づらやわがる時あとは
今み目がとな当すみしくと6につつ子つるこ初りを讀3月
日なをりながに。るいれなく年もでた育てにとめ夏思み月
こが迎、りら周子と限たく間つすりてい連が多の休い書に長
のらえまま過困供色りこ、学なが、のきれか事のみ出きが男
頃過またしごのだ々と毎校が自勉先ま、っだはま、が
です。せ。し。た々でこた、楽通てのしにた心。配時けい。の
た次い春大にはと。本しうい母た話。配するも不安になっ
らの3か変助なが今当そこき親りを聞か、せの少ても
い3年ら貴けく思、にうとまとして嫌た、の少ても
い年間中重て、い振母にと登嫌た、の少ても
な間と学ない私出りと登嫌た、の少ても
ともい校6た自さ返し校が。の少ても
思楽うに年だ身れつてするま自しも

